平成２９年度事業報告

１　総会及び諸会議の開催・参画

	主　　な　　内　　容	
平成２９年		
4.11	・農林水産航空事業地区別安全対策会議	（石川県）
4.14	・平成29年度農薬実証ほ設計会議	（農業共済会館）
4.19	・農薬管理指導士研修会等に係る担当者会議	（県庁）
5.17	・監査会	（農業共済会館）
5.18	・幹事会	（農業共済会館）
5.25	・公益社団法人 新潟県植物防疫協会第１回理事会	（農業共済会館）
6. 1	・平成29年度農林水産航空事業受託試験設計会議	（東京都）
6. 5	・新潟県産業用無人ヘリコプター推進協議会監査会及び通常総会	（農業共済会館）
6. 5	・平成29年度産業用無人ヘリコプター防除安全対策会議	（トラック会館）
6. 9	・（一社）日本植物防疫協会第６回総会	（東京都）
6.12	・新潟県病害虫研究会総会、シンポジウム	（長岡市）
6.15～16	・北陸地域水稲除草剤中間現地検討会	（佐渡市）
6.20	・公益社団法人 新潟県植物防疫協会定時総会	（農業共済会館）
6.21	・ＮＯＳＩ新潟中央無人ヘリオペレーター連絡協議会安全研修会	（新潟市）
6.22	・全国農林航空事業推進協議会幹事会･総会	（東京都）
6.26	・農薬試験運営会議	（農業共済会館）
6.26	・「にいがた植防だより」編集打合会	（農業共済会館）
7. 6	・新潟県農業総合研究所「作物関係研究成果発表会」	（長岡市）
8.31	・産業用無人ヘリコプター飛行技術競技会計画打合会	（農業共済会館）
9. 1	・農作物病害虫雑草防除指針編集会議（Ｈ３０版）	（県庁）
9.14	・(一社)日本植物防疫協会シンポジウム「薬剤施用法を考える」	（東京都）
10.12	・平成29年度産業用無人ヘリコプター飛行技術競技会	（県農業大学校）
10.17	・平成29年度農薬管理指導士研修会事前打合会	（農業共済会館）
10.24～25	・全国産業用無人ヘリコプター飛行技術競技会及び技術研修会	（茨城県）
11. 6～7	・平成29年度新農薬実用化試験北陸地域成績検討会	（石川県）
11. 6～7	・平成29年度水稲除草剤適2試験・普及適用性試験地域別成績検討会	（長岡市）
11.28～29	・平成29年度植物防疫北陸地区協議会	（石川県）
12. 6	・産業用無人ヘリコプター飛行技術競技会実績検討会	（農業共済会館）
12. 8	・平成29年度農薬実証ほ成績検討会	（トラック会館）
12.13	・病害虫防除フォーラム「農林水産業におけるドローンの利活用の推進」	（東京都）

	主　　な　　内　　容	
平成３０年		
1.16	・(一社)日本植物防疫協会シンポジウム「植物防疫をどう教えるか」	(東京都)
1.17	・平成29年度農薬管理指導士資質向上研修（第1回）	(自治会館)
1.18	・平成29年度水稲病害虫防除事業検討会	(興和ビル)
1.18	・緊急防除機器等整備支援事業運営委員会	(興和ビル)
1.23～24	・平成29年度農林水産航空事業受託試験成績検討会	(東京都)
1.29	・新潟県農薬卸協同組合新年総会	(新潟市)
1.31	・平成29年度農薬管理指導士養成研修･認定試験	(県庁)
2.16	・新潟県産業用無人ヘリコプター推進協議会利用実績検討会	(農業共済会館)
2.21	・（一社）日本植物防疫協会都道府県試験員等打合会議	(東京都)
2.21	・平成29年度農薬管理指導士資質向上研修　（第2回）	(自治会館)
2.26	・平成29年度農林水産航空事業検討会	(東京都)
3. 7	・平成29年度園芸作物病害虫防除検討会(果樹部門)	(長岡市)
3. 7	・新潟県病害虫研究会シンポジウム	(長岡市)
3.13	・幹事会	(農業共済会館)
3.26	・公益社団法人 新潟県植物防疫協会第2回理事会	(農業共済会館)

２　農薬等試験の実施

本県の立地条件、気象条件に適合した農薬の開発を促進し，より効率的な防除を推進するため、農薬試験実施要領に基づいて(一社)日本植物防疫協会等から１６０件の農薬等試験を受託し実施した。

なお、県への再委託試験については、当協会の農薬試験運営会議に諮り、県と委託契約を結び農業総合研究所の各研究センター等において実施した。

・平成２９年度農薬等受託試験受託状況　　(消費税込)

委託元	件数	委託料	備考
	件	円	
(一社)日本植物防疫協会	１１７	28,913,760	農業総合研究所（作物、園芸、畜産、高冷地、中山間地、佐渡の各研究センター） 協会試験員
(公財)日本植物調節剤研究協会	３４	5,352,480	
(一社)農林水産航空協会	6	5,512,360	
その他	3	852,000	
合計	１６０	40,630,600	

３　農薬実証ほの設置運営

新しく農薬登録をされた剤を中心に、地域において防除効果や安全性等を実証し適正な農薬の使用・普及を図るため、農業普及指導センター等の協力により４８ヵ所を設置して調査を行った。実証成績は成績検討会を開催して評価し、県農作物病害虫雑草防除指針への反映や普及活動に活用を図った。

・　平成２９年度農薬実証ほ設置状況　　(消費税込)

	委託農薬件数	実証ほ設置カ所数	備考
	件	カ所	
普通作物	6	8	農業普及指導センター
園芸作物 (野菜) (果樹)	１３ （8） （5）	１５ （１０） （5）	
除草剤	２１	２５	受託金額　1，９０６，２００円
計	４０	４８	

なお、平成２９年度に実証した農薬４０剤のうち、１８剤が「平成３０年度農作物病害虫雑草防除指針」に新たに登載された。

４　緊急防除機器等整備支援事業

緊急防除機器等整備支援事業準備資金６３,０００千円を原資とし、平成２５年度から３０年度までに無人ヘリコプター６０機の導入を支援する補助事業を実施し、平成２９年度は、ＭＡＧ株式会社、新潟中央農業共済組合など５事業者等、無人ヘリコプター１０機の導入に対し、１０,５００千円の補助金を交付した。（1,０５０千円／/機）

事業者	機体数	補助金(千円)	備考
ＭＡＧ株式会社	１	１，０５０	
新潟中央農業共済組合	３	３，１５０	
バイオヘブン	１	１，０５０	
中越農業共済組合	３	３，１５０	
魚沼農業共済組合	２	２，１００	
合　　計	１０	１０，５００	

５　防除活動の連携強化

（1）防除対策の強化

ア．地域防除協議会の活動及び農薬適正使用推進、広報に要する経費に対して助成した。

イ．水稲病害虫防除事業検討会をＮＯＳＡＩ新潟との共催により開催した。

ウ．県病害虫防除所主催の園芸作物病害虫（果樹部門）防除検討会を後援した。

（2）防除情報の提供

機関紙「にいがた植防だより」を年３回、各 1,500 部を発行するとともに病害虫発生予察情報の提供を行った。

（3）農薬安全対策

農薬危被害防止の徹底を図るため農薬安全使用ポスター・チラシを配付し、農薬安全使用の啓発に努めた。

（4）資料等の配布

ア．県農作物病害虫雑草防除指針 1,700 部を印刷頒布した。

また、新潟県農作物病害虫図鑑「Ⅱ果樹・花卉・緑化木編」及び「Ⅲ野菜編」を頒布した。

イ．中央情報の伝達を図るため「農林水産航空情報」等資料の配布及び植物防疫出版物の紹介、斡旋に努めた。

ウ．発生予察用資材のフェロモン製剤等を斡旋した（３６機関　１３６資材　1，２００千円）。

（5）病害虫防除対策調査の実施

試験研究の成果に基づく防除技術の実証、又は緊急に防除を要する地域課題の解決を図るため病害虫防除対策調査を県内６地域において実施し、協力費を交付した。

・平成２９年度病害虫防除対策調査事業

実　施　主　体	課　題　名
下越病害虫防除協議会	新発田市における斑点米主要加害種とｶｽﾐｶﾒ類ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟの地域予察への利用
新潟地域病害虫防除連絡協議会	かきのﾌｼﾞｺﾅｶｲｶﾞﾗﾑｼの防除時期の予察技術確立 新潟地域における斑点米カメムシ類の実態調査
中越植物防疫協議会	「ゆきみのり」斑点米ｶﾒﾑｼ防除対策実証
植物防疫魚沼地域協議会	主要斑点米ｶﾒﾑｼ類のﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟによる発生状況調査
上越病害虫防除協議会	ｶｽﾐｶﾒ類ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟの地域予察への利用および箱施用薬剤の効果の検証
佐渡市農業再生協議会	ﾌｪﾛﾓﾝﾄﾗｯﾌﾟよる斑点米ｶﾒﾑｼ類の発生調査

６　農薬管理指導士研修事業

県と協力して農薬管理指導士養成研修会を開催し、農薬管理指導士の育成及び農薬安全使用の啓発を図った。また更新者（３カ年ごと）の資質向上のための研修会を開催した。

・研修会開催実績

研修の種類	日　　時	場　　所	対象者（人員）
養成研修	平成３０年１月３　１日	県庁講堂	新規認定者 （４９名）
資質向上研修	平成３０年 １月１７日 平成３０年 ２月２１日	自治会館	更新者 （４１０名）

７　その他

（１）「新潟県産業用無人ヘリコプター推進協議会」（会員：３２団体）の事務局を担当し、飛行技術競技会や実績検討会の開催等を通じて本県における産業用無人航空機の安全対策推進に努めた。

（２）(公社)新潟県植物防疫協会のホームページにより、各種情報を広く提供した。